

監査結果の公表

監査委員は、地方自治法等に基づき、町長の指揮監督から独立した立場で、町および関係機関における「支出や契約、財産管理等の財務に関する事務の執行」や「公営企業の経営に係る事業の管理」が、法令等に従い、適正に行われているかを監査しています。

今回、平成28年度に実施した監査結果について、次のとおりお知らせします。

別海町監査委員 志賀 正章、田村 秀男、森本 一夫

行政監査結果報告書

1 監査のテーマ 「条例の進行管理について」

2 監査の目的

基礎的な地方公共団体である市町村の行政事務は法令等のほか、条例に基づき処理するとされているが、(地方自治法第2条2、3項・第14条1、2項) 本町の事務事業が、自主立法である町条例を遵守し適正に行われているか、改善すべき点はないか等を調査検証し、合理的、かつ、効果的な事務の執行により、町民の福祉増進およびサービスの向上に資することを目的とする。

3 監査の方法

監査を行うに当たり、別海町条例全255条例中、昨年度監査を実施した52条例を除く203条例から47条例を抽出し、当該条例に係る規則・規程等を含めて事前審査を行い、対象部課の説明聴取を中心に本審査を実施した。

4 監査の対象部課

総 務 部 総務課、防災交通課、総合政策課、財政課
 福 祉 部 町民課、福祉課、介護支援課、保健課、母子健康センター、老人保健施設
 産業振興部 農政課、商工観光課、水産みどり課
 建設水道部 管理課、事業課、上下水道課
 教育委員会 学務課、生涯学習課、図書館
 町立別海病院 事務課

5 監査の期間

平成28年9月5日から平成28年9月9日までの5日間

6 監査の着眼点

- ①条例を遵守し、目的に沿った事務処理が実行されているか。
- ②条例とそれに係る規則・規程間の整合が取れているか。
- ③適時見直し等が成され、時代の状況・情勢に適応しているか。

7 監査の結果

1 監査の結果の概要

条例の進行管理について、おおむね目的および趣旨に適応した解釈がされ、適正に事務処理が執行されていると認められたが、一部に次のとおり改善を要する事項があった。

本監査は、抽出法により一部の内容確認に留まっており、所管の部および課では残る条例等を含め、今一度各々確認を行い、それぞれ必要な措置を講じられたい。

また、改善等の措置を講じたときは、地方自治法第199条第12項の規定に基づき、その旨を通知されたい。

2 改善を要すると認められる事項

- (1)各条例は議会に諮られ、必要と認められて制定されたものであるが、法律の改正等により、目的を終えていると認められる条例が見受けられたので、廃止されたい。
- (2)協議会等の設置条例を定めているものの、該当する協議会等が設置されていない状況が一部に見受けられたので、必要性を含め検討され、改善されたい。
- (3)条例の中には、他の条例等の規定を準用している例があるが、準用元の条例等の改正時に見直しされていない事例が見受けられたので改善されたい。
- (4)一部の条例に「別海町条例の左横書き移行に伴う特別措置条例」の規定によらない文字使い等が見受けられたので、適時改善されたい。

定期学校監査結果報告書

1 監査の対象

上西春別小学校、中春別小学校、中西別小学校、上西春別中学校、野付中学校、中春別中学校、上春別中学校、野付幼稚園

2 監査の範囲

平成27年度、平成28年4月1日から7月30日における財務等に関する事務の執行

3 監査実施の期間

平成28年9月26日から9月29日までの4日間

4 監査の方法

各小中学校・幼稚園所管の財務等に関する事務が法令等に従い、適正かつ効率的に執行されているかを主眼として、関係諸帳簿および証拠書類との照合など通常実施すべき監査手続を実施したほか、必要と認めるその他の監査手続を実施した。

5 監査の結果

本年度監査の対象とした学校等については、所管する財務等に関する事務の一部に軽微な不備が認められたが、口頭による指導で改善されており、その他は概ね適正に執行されているものと認められた。

生涯学習課から

文化功労者・スポーツ功労者表彰式



本町の文化およびスポーツの振興において、永年にわたり功績のあった方や、各種スポーツ大会等で優秀な成績を収めた方を表彰する「別海町文化・スポーツ功労者表彰式」を12月5日、役場にて举行了。

本年度は、9個人3団体が表彰され、大塚教育委員長から表彰状と楯が贈られました。

■文化功労賞 矢内 幸史さん（日本民謡信芳会） 高橋 悟さん（日本将棋連盟別海支部）
白樺書道会（笹村 胤雄代表）

■文化奨励賞 川畑 那奈さん（別海高等学校美術部）
別海中央百人一首少年団 白銀の龍（小学生の部）、龍神の翼（中学生の部）

■スポーツ功労者賞 尾上千津子さん（別海町ソフトバレーボール連盟会長）

■優秀選手賞（個人） 森重 航さん（スピードスケート） 野々村太陽さん（スピードスケート）
森野 太陽さん（スピードスケート） 宮坂 大地さん（スピードスケート）
小島 楓さん（スピードスケート）

別海町少年
弁論大会を
開催

11月19日、63回目となる別海町少年弁論大会をマルチメディア館において開催し、町内各中学生の代表16人が意見発表を行いました。

大会では、どの発表者もさまざまな体験を通じて、日頃抱いている夢や疑問、社会に対して訴えたいことを中学生ならではの感性で力強く発表しました。

■大会結果

最優秀賞	別海中央中学校	2年	佐野 綾花さん
優 秀 賞	別海中央中学校	3年	石渡 由莉さん
	上風連中学校	1年	森重 琴月さん
	中春別中学校	2年	森田麻里百さん
	西春別中学校	3年	太田 美慶さん
	中春別中学校	2年	福嶋 若花さん



問合せ／生涯学習担当（内線3713）

別海町幼小中高生「生活と健康に関するアンケート」結果

子どもの電子メディア利用について



子どもたちのテレビの視聴時間は減少しており、特に中高生での減少が顕著です。

しかし、ゲームやインターネットを利用する時間が増加しており、依然、一日の限られた時間の多くを電子メディアに費やしている現状があります。

また、今回の調査では、インターネットを利用していないと回答する児童生徒は、小学校高学年で58.1%、中学生で25.9%、高校生では、わずか1.1%でした。

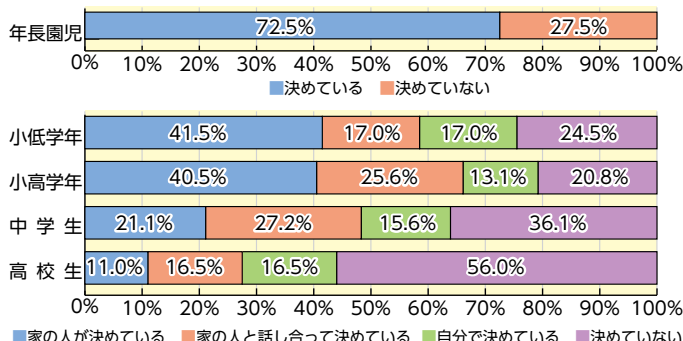
インターネットや情報通信機器が子どもたちの生活の中にも広がり、テレビの時間がゲームやインターネットに移行していることがうかがえます。

一方、電子メディアの使用についてルールを設けていないとの回答が多く、高校生については56.0%に上ります。

多くの子どもたちが「ルールがない」という認識のもとで自由に電子メディアを使用している実態があり、適切な利用の仕方や家庭でのルールについて確認が必要です。

保護者の見守りと制限が必要であることを伝え、「何のために必要なのか」「どのように使うのか」など、目的やルールについて話し合しましょう。また、ルールを設けた後も、トラブルに遭っていないか、過度の利用で長時間化していないかなど、利用状況を確認する必要があります。

電子メディア使用のルール



メディアコントロール ～子どもの健康、安全、未来を守る～

▶乳幼児期からコントロールすること

多くの専門家が、乳幼児期からの電子メディアへの早期接触や長時間化は、心身の健全な発達に影響すると警鐘を鳴らしています。

さまざまな電子メディア機器に囲まれる今日の生活では、意識してメディアのスイッチを切る必要があり、スイッチOFFの習慣はメディアコントロールの基本です。

▶家庭でルールをつくること

テレビゲームなどは、次々に課題を達成していくことで高揚感や満足感が得られるため、長時間化しやすくなることがわかっており、オンラインゲームでは、場所や時間に制限されことなく友達と遊ぶことができます。また、思春期の「友達から認められたい」という心の特性を考えると、LINEなどでいつまでも友達とつながっていたいという気持ちになるのは当然です。

ですから、利用時間についてルールを設けることは必須です。生活の優先順位や時間の使い方について話し合い、集中して学習に取り組む時間や睡眠の時間を確保することが大切です。

▶情報モラル教育と機能の使用制限

インターネット上では、不特定多数の人にあつという間に情報が広がります。また、拡散してしまった情報を完全に削除することは難しく、個人情報や画像の流出により安全な生活が脅かされる事例や、過去の軽はずみな言動で大学の推薦合格や就職の内定が取り消されるといったことが起きています。インターネット上のコミュニケーションでは、対面のコミュニケーションよりも、相手への思いやりやマナー、モラルのある言動が求められます。

多くの機能が付いた情報通信機器は、情報モラルやコミュニケーション能力、自己管理能力などが、どの程度身に付いているかに応じて、利用できる機能や範囲を制限する必要があります。保護者自身がインターネット上に有害な情報があることやトラブルに巻き込まれるなどの危険性があることを認識し、インターネット情報のフィルタリングや通信端末のペアレンタルコントロールを設定するなどして、子どもを加害者にも被害者にもさせないことが大切です。



NPO子どもとメディア認定インストラクター

中谷 通恵 氏

スイッチOFF22

教育委員会では、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を目指し、「早寝早起き朝ごはん テレビを止めて外遊び」に続く町民の合言葉となるよう「スイッチOFF22」運動を推進しています。

スイッチOFF22標語
コンクール最優秀作品

スイッチOFF22で 生活変えよう 未来を変えよう!

早寝早起き朝ごはんテレビを止めて外遊び